

# 組織目標管理シート

年度	令和5年度	(参考) 関連する総合計画に おける政策指標	延べ宿泊者数 観光入込客数	作成日	R5.5.19
組織名(部)	観光・国際交流部	組織名 (準部・課・機関名)	観光政策課	評価日	R6.3.29

○:達成  
△:一部未達成  
×:未達成

No.	組織目標	指標			主な取組(事業)		評価	目標達成状況	今後の方針	
		総合計画(実施計画)上の位置づけ	取組指標	R5目標	R5結果	取組名称(事業名)				概要
1	新潟空港や新潟駅といった拠点において、おもてなし感の醸成を進めます。	政策10-1-①	令和5年6月中に委託業務を発注	令和5年度中の竣工	令和6年3月1日竣工	・新・新潟駅観光案内センター整備事業	令和5年度中の供用開始を目指し、新しくなる新潟駅構内に、来訪者のおもてなしと本市の観光情報・魅力の発信拠点として、新しい観光案内センターを整備します。	○	・令和6年3月1日竣工 ・新案内センター3月訪問者数16,224人(前年同月の約4.3倍)	映像や情報の更新など、ブラッシュアップを図っていきます。
2	食と酒、みなとまち文化、各区の地域資源、古町芸妓、マンガ・アニメ、スポーツなど、新潟市の個性・魅力を最大限に活用し、誘客を促進するとともに、来訪者の満足度向上、リピート・消費意欲の向上につなげます。	政策10-1-②	公式観光ホームページの年間訪問数(セッション数)	727,223件以上(令和4年度:727,223件を上回るアクセス数)	828,087件	・観光資源・観光イベントの充実	新潟まつりやにいがた総おどり、酒の陣など、本市の魅力発信や交流人口の拡大に資する観光イベントの開催を支援します。また、令和4年度に多くの子ども・若者が参加した「新潟まつり市民参画プロジェクト」の継続実施を支援します。	○	前年比113% ・統計アプリ機能の仕様変更のため、目標値はセッション数、結果値はアクティブユーザー数(セッション数よりも少ない)でカウント	インバウンドの増加につなげるため、外国人のアクセサビリティを高めていきます。
			新潟観光コンベンション協会Instagramフォロワー数	3,750人	4,707人	・新潟観光コンベンション協会と連携した誘客促進  ・魅力発信・誘客の推進	・交流人口の拡大につなげるため、「新潟観光コンベンション協会」と連携し、本市の魅力発信をはじめ、旅行商品の造成、MICE誘致などの活動を展開します。  ・様々なメディアを活用し、ターゲットを意識した効果的な情報発信を行うとともに、新潟空港などにおいて、デジタルサイネージなどを活用したおもてなし感を醸成することで、本市へのさらなる誘客につなげます。			
3	全ての職員が、子育てや介護などのライフステージに合わせて柔軟に働き続けることができるよう、職場環境の整備やテレワークの導入などを進めます。	行財1-4-②	年次有給休暇取得日数	14.0日	11.5日	年次有給休暇の取得日数の向上	ワークライフバランスを推進するため、有給休暇の取得について、積極的に呼びかけを行い、職員の健康管理に努めます。	×	休止イベントの再開などで通常業務が増加したほか、能登半島地震発生に伴う災害対応等の業務が生じたため、目標未達成となりました。	ワークライフバランスを推進するため、有給休暇の取得状況を確認し、取得の少ない職員へ声掛けを行っていきます。

組織目標管理シート

年度	令和5年度			(参考) 関連する総合計画に おける政策指標	・延べ宿泊者数 ・観光入込客数	作成日	R5.5.19
組織名(部)	観光・国際交流部	組織名 (準部・課・機関名)	観光推進課			評価日	R6.3.29

○:達成  
△:一部未達成  
×:未達成

No.	組織目標	指標			主な取組(事業)		評価	目標達成状況	今後の方針		
		総合計画(実施計画)上の位置づけ	取組指標	R5目標	R5結果	取組名称(事業名)				概要	
1	来訪者が安心・安全に観光できる体制づくりや、観光面からSDGsに貢献できる仕組みの構築など、持続可能な観光への取組を官民一体で進めます。	政策10-1-①	新潟市教育旅行プログラム利用件数	20件	5件	新しい観光スタイルの推進	持続可能な観光に向け、官民一体の新潟市新しい観光スタイル推進協議会を中心として、SDGsプログラムを活用した修学旅行の誘致など、ポストコロナに適した観光スタイルを構築・推進します。	△	修学旅行誘致促進支援事業費縮小やコロナ収束が影響し、5件147人の実績となり、目標に達しませんでした。SDGsを学べるプログラムは参加者から反応も良く、映像制作もなされるなど、新たな新潟ファンを獲得に一定の効果はあったものと考えます。	新しい観光スタイル推進協議会の解散に伴い、予算化されず、これまでに構築したプログラムコンテンツは、HPに掲載し周知を継続するとともにセールスツールとして有効に活用していきます。	
2	国際港・国際空港や高速道路、新幹線といった高速交通ネットワークを有する拠点性を活かし、ハイレベルな国際会合・スポーツ大会等を含むMICE誘致、および佐渡市や会津若松市をはじめとする県内外の自治体との広域連携により、誘客を促進します。	政策10-1-②	コンベンション件数	208件	172件	MICE誘致推進	各種会合やスポーツ大会の主催者等に対し、開催補助金をはじめとする充実した支援制度を有することや、食、みなどまち文化、豊かな自然といった本市の魅力積極的にアピールすることで、経済波及効果の大きいMICE誘致を推進します。	△	スポーツ大会・競技会に比べ、学会・会合の回復が遅く、全体として目標数値に達しませんでした。学会については、オンラインでの開催も増えていることが理由の一つであると考えられます。	国際的・大規模MICE誘致を進めるとともに、ホテル開催の中規模MICE誘致を強化するため、これまでの「ブロック」の補助内容を「全国」に統一格上げします。	
			・佐渡・新潟周遊ツールの利用者数	2,000人	344人	佐渡連携誘客事業	「佐渡島の金山」の世界遺産登録を見据え、佐渡・新潟エリアとしての一体的な周遊や、来訪者への満足度の向上、消費行動の活性化、滞在期間の延長などを促す仕組みの構築に、佐渡市や交通・宿泊業などの関係者と連携し取り組みます。	×	・目標には達しませんでした。取組により、関係者との連携体制が強化されたほか、本市滞在の満足度向上に一定の効果も認められました。 ・タクシー事業者の人手不足とクレームを懸念し、ホテル側の意識から、想定よりも宿泊プランの造成が進まず利用が低調でした。		・新潟市内での特典及び観光循環バス1日乗車券の配布を継続します。 ・本市に宿泊する佐渡旅行者に対するインセンティブをタクシークーポンから、より訴求力のある共通商品券に変更し取り組みを強化します。
			・市内宿泊施設と二次交通をセットにした旅行商品の利用者数	2,000グループ	63グループ	広域連携誘客事業	観光交流を宣言している会津若松市などの都市間連携をはじめ、北前船寄港地などの様々なテーマで結ばれる都市との連携により、本市への誘客を図ります。	○	日本海縦断観光ルート協議会として大取市で「日本海トランザルマリエ」を初開催したほか、敦賀市での北陸新幹線開業イベントなど、万博を見据え関西での活動に注力しました。会津若松市とは観光連携協定を7月に締結し、会津十葉イベントに参加しました。		観光連携協定を締結した会津若松市とは、両地域に共通する文化を生かした共同プロモーションなどを実施するほか、北前船日本遺産協議会においては、県をまたいだ地域ブロックでの活動などを進めていきます。
3	航空路線の充実、外国人誘客、クルーズ船の誘致を進めます。	政策10-1-②	外国人延べ宿泊者数	34,250人	76,289人	外国人誘客促進事業	様々な自治体や民間事業者と連携し、海外セールスやメディア招聘、情報発信などに取り組み、さらなる訪日外国人観光客の誘致につなげます。	○	令和5年5月の新型コロナウイルス感染症の5類移行や新潟空港国際線の復便より、インバウンドが本格的に再開。就航先の現地旅行社へセールスを行い商品達成に繋がった、インフルエンサー招へいや国際観光展出展など観光PRに努めました。	急回復する旅行需要の回復に伴い、新潟空港国際線就航地等の現地旅行社への積極的な参加及び本市訪問中の旅行者向けに情報発信を行うなど取り組みを強化します。	
			翌年度のクルーズ船寄港予定回数	13回	9回	クルーズ船誘致推進事業	国内・海外クルーズ船のさらなる誘致に向け、県や関係団体と連携し、船社、旅行社へのセールス活動や寄港時の受け入れ体制の強化に努めます。	△	クルーズ船は誘致活動から寄港実現までに2〜3年を要するため、新型コロナウイルス禍の活動自粛の影響は否めず、目標達成に至りませんでした。関係団体と連携し、寄港時の受け入れや国内外へのセールス活動を確実に実行し、信頼関係の持続・強化を図ることで今後に備えました。	今後、クルーズ船観光は更に拡大が見込まれています。本市の強みである寄港時の歓迎対応、まちなかの観光案内等を充実する一方、セールス活動を積極的に展開し、新潟の魅力を広げていきます。	
4	全ての職員が、子育てや介護などのライフステージに合わせて柔軟に働き続けることができるよう、職場環境の整備やテレワークの導入などを進めます。	行財1-4-②	年次有給休暇の取得日数の向上	14.0日	16.22日	年次有給休暇の積極的な取得	朝礼や課内会議においてアンバーサリー休暇やブリッジ休暇を活用するなど、有給休暇の積極的な取得についての呼びかけ等を行う。	○	急変する観光客回復や災害対応により業務が増えたものの、年度途中の職員増員により業務分散ができたほか、有給休暇の積極的な取得を呼びかけたことで、目標達成できました。	引き続き、有給休暇の積極的な取得についての呼びかけ等を行っています。	

# 組織目標管理シート

年度	令和5年度	(参考) 関連する総合計画における政策指標	・新潟市は暮らしやすいまちだと思ふ外国籍市民の割合 ・新潟市は国際的なまちだと思ふ市民の割合	作成日	R5.5.19
組織名(部)	観光・国際交流部	組織名 (準部・課・機関名)	国際課	評価日	R6.3.29

○: 達成  
△: 一部未達成  
×: 未達成

No.	組織目標	指標			主な取組(事業)		評価	目標達成状況	今後の方針	
		総合計画(実施計画)上の位置づけ	取組指標	R5目標	R5結果	取組名称(事業名)				概要
1	外国籍市民にも暮らしやすい環境づくりを推進します。	政策1-4-①	多文化共生・国際理解促進事業の参加者数	3,200人	4,862人	多文化共生のまちづくり	多言語ややさしい日本語による生活情報発信、やさしい日本語の普及啓発、国籍を問わず住民同士のコミュニケーションを円滑にする機会を創出するとともに、国際交流員の派遣等により国際理解を深められる取組を推進します。	○	主な取組(事業)を着実に実施し、指標の目標値を達成するに留まらず、将来を見据えた市の国際政策を検討し、次年度からの重点事業として「外国人との共生社会推進本部」の立ち上げの方針を示しました。協会とは多文化共生社会の推進に向けた取組を協働し、事業・組織等の検討を毎週行うなど、連携を強化しました。	「外国人との共生社会推進本部」を立ち上げ、国の指針に基づきながらも新潟市の特徴やニーズを反映させた全市的な多文化共生の取組を協会とともに推進します。庁内の啓発と連携を強化するとともに、特に外国人相談窓口と日本語教育の充実を図りながら、今後3年間の取組強化期間の基礎を築いていきます。
2	姉妹・友好都市等との交流を促進します。	政策10-2-①	姉妹・友好都市、交流協定都市との交流事業参加者数	500人	2384人	姉妹・友好都市などとの交流の推進	本市の国際都市としての発展とシビックプライドの醸成、市民レベルでのグローバルパートナーシップの活性化に向け、姉妹・友好都市、交流協定都市との交流を引き続き推進します。特に青少年交流に注力するとともに、オンラインをはじめとするデジタル技術を活用し、より効果的な交流となるよう取組みます。	○	ナント市と相互の代表団の派遣・受入、韓国ハンガウィ祭りへのウルサン文化団の招致、ハルビン尚志市訪問団の受入、中国春節祭復活など、本格的に再開した対面交流に積極的に取り組むとともに、日韓の青少年のオンライン交流やガルベストン市とのオンラインミーティングなどデジタル技術も活用しながらより多面的・効果的な交流を推進し、目標値も大きく上回りました。	次年度は、ナント市姉妹都市提携15周年やガルベストン市姉妹都市提携60周年の記念事業において、より市民に開かれた形での実施を目指すとともに、教育委員会や市民病院、ラムサール関連プロジェクトなど、他部署や総領事館等の海外交流事業にも協力しながら、国際都市としての発展とシビックプライドの醸成に寄与していきます。
3	持続可能な行財政運営の確立に向け、経営資源のより効果的・効率的な配分に取り組めます。	行財1-2-①	効果的・効率的なマニュアルの整理・更新・引継を進める。	マニュアルの整理、改善	マニュアルの整理、改善の実行	国際課各種マニュアル整備業務	国際課には、海外VIPの市長表敬、国際交流員赴任・受入、総領事館対応等、庁内唯一無二の業務が多数存在します。これらを職員間で共有し、リスク管理、内部事務の効率化を図ります。	○	共通フォルダを整理し、国籍別人口や留学生数等の基礎データや年間スケジュール、訪問者や土産リスト等の記録の継承を明確化するとともに、CIR派遣マニュアルや海外出張旅費事例をはじめ各種マニュアルの整理を進めました。特に海外要人の表敬対応マニュアルは他部署にも提供し大変重宝されるなど、経営資源の配分にも寄与しました。さらに抜本的なホームページの再構成も行い、分かりやすく効率的な情報提供にもつなげました。	引き続きマニュアルの整理・改善を進めデータや記録の継承を行うとともに、姉妹都市等の提携書や市長親書等歴史的な文書や資料の引継ぎも整理します。また、地震対応の教訓を生かし、災害時の初動対応や多言語支援センター設置マニュアル、平時を含めた外国人等への情報提供・広報マニュアルの整備に取り組めます。